

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590100432		
法人名	社会福祉法人 博愛仁志会		
事業所名	認知症対応型共同生活介護事業所 グループホーム たきや		
所在地	新潟県新潟市秋葉区滝谷町4番19号		
自己評価作成日	平成31年1月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/15/i/index.php?act=on_kouhyou_detai_2018_022_kani-tru&li_gyosyoCd=1590100432-00&Pr_efCd=15&Ver_si_onCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	平成31年2月28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

【たきや職員理念】【共に寄り添い、心地よい生活をしていただけるよう努めます】
 ○職員が決めた理念をもとにご利用者様一人ひとりに合わせた支援をしています。毎月職員会議を開催し、ご利用者様の支援についてどのようにしていくか話し合いをしています。会議で出た案をもとにご利用者様の状態を見ながら生活を見直し、ご利用者様やご家族様と相談しながらその時に必要な支援をしています。ご利用者様に希望のメニューを聞き手作り食事やおやつなども一緒に作っています。誕生日には手作りケーキを作りホームにいる全員でお祝っています。一年を通して季節を感じていただくためにご利用者様のお出かけ希望をとり外出予定を年間で計画しています。季節に合わせた行事なども企画し、ご利用者様と職員と一緒に季節を感じ、楽しい思い出作りが出来るように過ごしています。また、室内にいても季節を感じていただけるようにその時期に合わせた作品や飾り付けをしています。
 ○地域とのつながりを大切にし近所で暮らしていたご利用者様のご自宅の畑をお借りし管理することで地域の人と挨拶やコミュニケーションをとることで交流をしています。今まで暮らしてきたなじみの関係をつづけ地域の人ともかかわりがとれるよう支援しています。町内の敬老会の参加やホームの夏祭りなどで地域の人が参加して下さり少しづつ交流する機会を増やしています。年に数回たきやだよりを作成しホームの日々の様子や行事内容をお知らせしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○伝わる落ち着いた生活環境
 事業所は多様な福祉施設を運営する社会福祉法人を母体として、小規模多機能型居宅介護支援事業所と共に建立され開所10年目を迎えた。秋葉区の中心地へ向かう主要道路に面し、車の往来も多いが四季折々の表情を魅せてくれる秋葉区のシンボル秋葉山を背にした落ち着いた住宅街の中に立地している。ホール内の天井は高くガラス張りの明り取りがあり、柔らかな日差し心地良さや、天空の眺めも想像できる開放的な空間となっている。事業所内部の環境も利用者が活動しやすい造りとなっており、住み慣れた地域での生活支援を基本として活動している。

○地域交流と、家族と共に支え合う協力体制

サービス面では、利用者がその人らしい暮らしが続けられるように事業所の理念である「共に寄り添い、心地よい生活をしていただけるよう努めます。」を大切にし、折に触れ利用者や家族から利用前の暮らしについて伺いながら、一人ひとりに向き合い、個々の力を活かし自立に向けた支援がなされており、加えて家族による通院時の付き添いや外出、外泊の協力も得られる等、利用者が安心して生活できている様子が窺えた。また、事業所は地域行事への参加や協力、地域の方々からは事業所の実施する避難訓練や行事への参加をもらう等地域の一員として交流を進めている。また、嘱託医の指示の下、適切な医療が受けられる体制も整備されている。職場は落ち着いて穏やかなチームワークが感じ取れ、管理者、職員間の関係性もよく事業所の運営体制の協働も図られている。

○関係機関との連携面について

関係機関との連携面についても運営推進会議が定着しており、利用状況及び日頃の取り組みについての報告に率直な意見やアドバイスをもらい、サービス向上に活かしている。特に包括支援センター担当者とは日頃から積極的な情報提供や相談事もなされており、協働の姿勢を深めている。